

いつもお世話になっております。

私は兵庫県西宮市で小学生の卓球コーチをやっています。ボランティア的なもので、毎週末に2時間程度のものです。長男が小学生の時からなので、もう20年近くになります。時々生意気な小学生に手を焼くこともあります。そういったところも含めて楽しみにしてやっています。



5バリューアセット株式会社  
代表取締役 斉藤彰一

今年はクラブの卒業生は2人でした。卒業生は中学で卓球部に入る子が多いのですが、来年の夏からは西宮市の公立中学校では部活動がなくなることになったらしく、今年卒業した小学生はそれ以降は卓球が続けられるかどうか、わからなくなっているとのことでした。

少子化や教師の負担増などが理由のようです。小学校のように中学でも地域ボランティアを募って継続を図っているようですが、なかなか難しいようです。

時代が変わったので仕様がなにも思いますが、今の子供達やこれからの子供達はかわいそうに思いますし、部活動が存分にできた私達の子供時代はつくづく幸せだったと思います。それに、我々をお世話いただいた先生方は毎日どれだけ大変だったかと思えます。

部活動だけでなく、私は小学校の時は少年野球を毎日のようにやっていたし、将棋なんかも近くの公民館で習っていました。当時はそういったものがいくつもあることが当たり前のように感じていましたが、今思えばたくさんの大人のお世話になっていました。

グローバル化、IT化、金融の肥大化などの時代の流れのため、人との触れ合いや周囲への関心が低くなり、子供たちをお世話してあげようという大人が昔と比べてかなり減りました。反面、(関連しているかは不明ですが)電車の中でスマホでゲームをしているような大人が多く目につくようになりました。

そして残念ながら、時代の最先端に位置しているであろう我が金融業界の人達というのは、このような社会問題に対しては鈍感で、無関心な人が多いと感じます。

米国の成功したファイナンシャルアドバイザー (FA) 達は、日本と違って社会的に尊敬されていますが、同時に彼らは自分たちが「いかに社会のためになるか」とか「いかに恩返しをするか」というようなことを常に考えています。

私は日本のウェルスマネジメントの発展のためにはFA一人ひとりが、金融に強いというだけではなく、身の回りの社会問題に関心を持ったり、恩返しの感覚を持ったりすることが必要なのではないかなと思っています。

今後とも5バリューアセットをよろしく願いいたします。

2025年5月15日